

記念事業に役立てて

大垣西濃信金 市に300万円寄付

大垣市は1918

（古家政徳）

とを紹介し「市とはご縁が深く、100周年を市民全員で一つになつて盛り上げて今後の市勢発展へつなげてほしい」と期待を口にした。

（大正7）年の市制施行から100年の節目を迎える本年度、「市制100周年記念事業実行委員会」を主体として市民協働で各種記念事業を展開している。

大垣西濃信用金庫 理事長が訪れ、小川敏市（大垣市恵比寿町）は14日、市制100周年記念事業推進のため300万円を市に寄せた。市役所を栗田順公理の初代理事長だったこ

市長が訪れ、小川敏市長に目録を手渡した。栗田理事長は、第3代市長を務めた東島卯八が前身の大垣信用組合



小川敏市長に目録を手渡す栗田順公理事長（左）＝大垣市役所